

対アンティグア・バーブーダ無償資金協力  
経済社会開発計画（サルガッサム海藻対策機材調達）署名式

2020年11月30日  
在トリニダード・トバゴ日本国大使館

11月30日、アンティグア・バーブーダの水産業及び観光業発展のための2億円を供与する無償資金協力に関する署名式が、オンライン形式で行われました。

この協力は、我が国で製造された海藻除去機材を供与することにより、同国の観光業及び水産業の持続的な発展を図り、もって同国の経済社会開発に寄与するものです。

署名式では、ガストン・ブラウン首相及び平山達夫大使署名を行い、アンティグア・バーブーダからはジョセフ保健・健康・環境大臣及びジョセフ大使が出席しました。

挨拶の中で平山大使は、コロナ禍下でも両国関係は強化されており、サルガッサム海藻がカリブ地域の水産業や観光業に与えている甚大な影響を低減するため、今支援を決定した、両国は海洋生物資源の持続可能な利用等の普遍的価値観を共有している、今回の支援が効果的、効率的に利用されることを期待し、今後とも東カリブ諸国と緊密に協力していきたい、と述べました。

ブラウン首相からは、この支援は、サルガッサム海藻への対応に留まらず、海岸や水産資源といった沿岸資源を管理することにつながる、同国にとって非常に重要で、コロナ禍での困難な状況下で時機を得た支援である。平山大使をはじめ、日本国民、菅首相及び安倍前首相に心から感謝申し上げますと述べました。

ジョセフ大臣からは、気候変動や新型コロナウイルスによって厳しい状況にある中で、この支援は我々にとって大きな助けとなる。サルガッサム海藻に対する同国の対応能力を高めるものとなるため、心から感謝申し上げます、と述べました。

日本政府は、今後ともカリブ各国との友好関係と相互理解を促進し、小島嶼国特有の脆弱性の克服を図るため、防災、環境、エネルギー、廃棄物処理及び水産分野に対する支援を実施していく考えです。

お問い合わせ

在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班

Tel: +(1-868)-628-5991 Ext. 222

E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp



ジョセフ保健・健康・環境大臣によるスピーチ



平山大使によるスピーチの様子



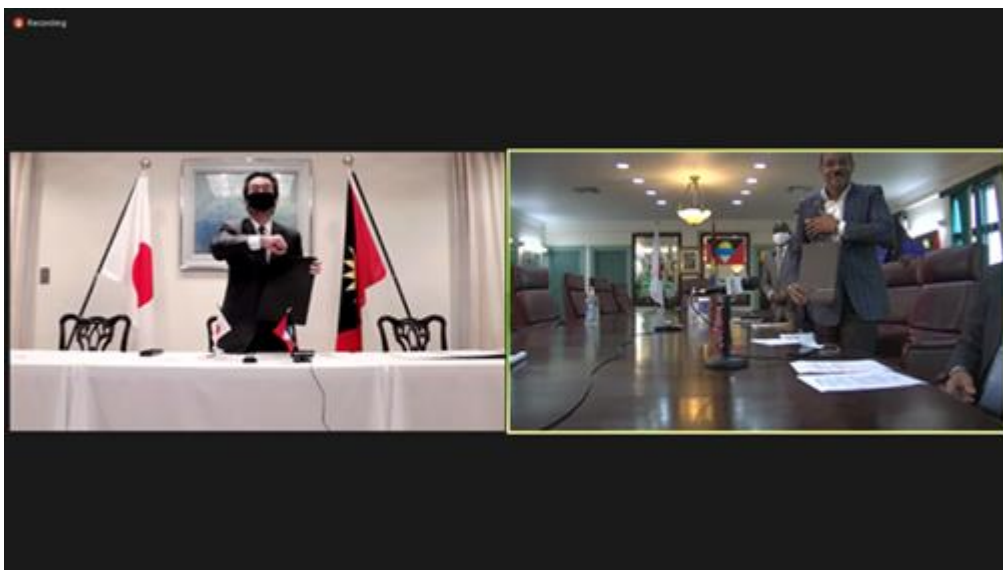
ブラウン首相が署名する様子



平山大使が署名する様子



ブラウン首相と平山大使が挨拶を交わす様子



ブラウン首相と平山大使が挨拶を交わす様子